

平成22年第4回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
12 月 15 日	1	矢内 泰吉	無 所 属
	2	関根 角男	無 所 属
	3	岡部 政一	無 所 属
	4	佐藤 弘信	無 所 属
	5	佐川 勇司	無 所 属
	6	岡部 淳一	日本共産党
	7	高木 節男	無 所 属
	8	佐藤 一夫	無 所 属

古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	5番 矢内 泰吉	1. 2期目の町政運営と今後について (答弁者: 町 長)	(1) 2期8年の町政運営を踏まえ、今後の課題は何か。 (2) 「町民との約束」で、任期中に実現できなかったものについてどう考えているか。 (3) 3期目の町長選出馬についての考えは。
2	11番 関根 角男	1. 小学校の統合によるスクールバス運行と雇用について (答弁者: 町 長)	(1) 最初の町営バス6台から議会に何の説明もなく福島交通に変更になった理由について。 (2) 町長は雇用に対し、どのような認識を持っているのか。 (3) 中学生、幼稚園、保育所等から、バス利用の要望があった場合の対応は、どう考えているのか。
		2. 統合による廃校舎の利用について (答弁者: 町 長)	(1) 廃校舎を利用して福祉施設(介護老人保健施設)は考えていないか。
3	4番 岡部 政一	1. 過疎化の対策について (答弁者: 町 長)	(1) 過疎化は止められるのか、その対策は何か。 (2) 高校への通学交通費の半額補助と中学校のスクールバス通学無料化等、実行したらいくらかかるのか。また、過疎化対策のためにもすべきと思うがどうか。 (3) ふるどの農協スーパーがなくならないように存続の署名活動をしているようだが、町としては何らかの対応を考えているのか。 (4) 過疎化が進む中、火災、災害、防犯等における事業所との協力関係は大切であります。どのようになっているのか、また、事業所との間に地域防災と消防団員の確保を図る、協力認定制度をつくり、より充実させてはどうか。 (5) 冬期間の通勤、通学のための路面凍結、除雪対策は万全なのか、特に危険箇所の路面凍結については徹底した対策をすべきであると思うがどうか。 (6) 一人暮らしの高齢者の安否確認、生活相談、介護相談などは徹底しているのか。
		2. 環太平洋連携協定(TPP)による影響について (答弁者: 町 長)	(1) TPP(環太平洋連絡協定)に対する新聞のアンケート調査には反対、時期尚早との回答のようですが根拠は何か。 (2) TPPをどのように検討したのか。 (3) TPPによる貿易自由化で農産物の影響はどのくらいあるのか。 (4) TPPによる貿易自由化で地元企業のメリット、デメリットはあるのか。 (5) TPPに参加されたら、町の将来はどのようになると考えられるか。

順序	質問者	質問事項	要 旨
4	1 番 佐藤 弘信	1. 住宅用火災警報器の設置について (答弁者: 町 長)	(1) これまで町では、火災報知器の設置についてどのような取り組みをしてきたか。 (2) 町営住宅・借家等の設置はどういう形で行うのか。 (3) 高齢者等が自分で設置出来ない人の対策はどのようなものか。 (4) 設置義務の法制化で、期日までに設置しないと罰則規定等はあるのか。 (5) 今後、町としての設置に向けての対策はどのようなものになるのか。
		2. ジェネリック医薬品の普及促進について (答弁者: 町 長)	(1) ジェネリック医薬品に対してどのような見解を持っているか。 (2) 町では、今までにジェネリック医薬品普及に向けて、どのような対策を行ってきたか。 (3) 患者本人の医療費の負担軽減・医療費の抑制のために、町民への啓発を図り普及に努めていくことが、大切であると思うがどう考えるか。
5	2 番 佐川 勇司	1. 廃校・跡地の利活用について (答弁者: 町 長)	(1) 検討委員会の経過内容と今後の計画内容は、どのようなものか。 (2) 町の施策案は、どのようなものか。 (3) 高齢者自身や介護家族が手軽に利用できる、地域密着型介護施設デイサービスセンターの活用はどうか。
6	8 番 岡部 淳一	1. 次年度の具体的事業への考え方と姿勢 (答弁者: 町 長)	(1) 雇用の確保に対するの考え方と取り組み。 (2) 農業振興の考え方と取り組み、特に米について。 (3) 廃校による施設と跡地利用、特に大久田小学校について。 (4) 道の駅の活性化の考え方、特に施設の改良について。 (5) 高校生の医療費無料化を来年度当初から実施してはどうか。
		2. 公共工事の在り方と新たな仕事おこし (答弁者: 町 長)	(1) 今年度実施されているゴミステーション建築事業での基本的な考え方、業者への説明、入札方法、結果について。 (2) 仕事おこしについて、町としての考え方と具体的な取り組み。 (3) 住宅リフォーム助成事業について、どんな認識をもっているか。 (4) 緊急景気対策・町内業者支援として住宅リフォーム助成事業に取り組んでも良いのではないか。

順序	質問者	質問事項	要 旨
	8番 岡部 淳一	3. 行政サービスの制限と町村税の滞納対策 (答弁者: 町 長)	(1) 9月21, 22日の納税相談は、何名が参加し、滞納者個々の事情を素直に聞き、新たな対策はとれたのか。 (2) 相談後に新たな制限措置の該当者は出たのか。また、相談前の20名を含む該当者に制限措置はとられたのか。 (3) 町村が連携して取り組むとは具体的にどうするのか。 (4) 本当に石川地方5町村が連携すると理解しても良いのか。
7	3番 高木 節男	1. 歴史的地域資源をどのように活かすのか (答弁者: 町長 ・教育長)	(1) 古殿町史も昭和45年に編纂され、40年が経ちます。平成13年度に古殿町町史編纂委員会設置要項が設置されましたが、その後どのように進められたのか。 (2) ビジュアル本としての町史を編纂する取り組みで、平成21年度まで完成予定と伺っていたが、完成されたのか。 (3) 過疎地域自立促進計画書における、地域文化の振興の対策として、自然、文化遺産を記録、収集整理し、次代に伝えるとあるがどのような計画なのか。 (4) わが町では、伝統文化の保存継承による、流鏝馬の町づくりとして、流鏝馬の振興に力を注いでいるが、今年度作成の過疎地域自立促進計画で、流鏝馬の馬場等の整備事業とあるが、どのような計画なのか。 (5) 全国に流鏝馬をする地域は沢山あるが、古殿町独自の流鏝馬の町としての特色をどのように捉えて、今後流鏝馬の町として、さらなるPRを全国に発信していくのか。 (6) 貴重な財産である文化遺産の保存と活用を図る、後継者育成計画は。
8	6番 佐藤 一夫	1. 学童保育の実施について (答弁者: 教育長)	(1) 「ふるどの児童クラブ」利用申請書を配布されたようですが、集計結果はどうか。 (2) 学童保育実施に向けた、保護者との話し合いはどのように進められているのか。 (3) 長期休業は実施しない方針だが、その理由は。